

國有財産法案外一件特別委員會議事速記録第三號

大正十年三月二十二日(火曜日)午前十時三十四分
開會

○副委員長(高橋琢也君) ソレチヤ今日ハ委員長ガ御病氣ナサウデゴザイマシテ、私ニ代ッテ委員會ヲ開イテ吳レト云フコトデアリマスカラ、是ヨリ委員會ヲ開キマス

○男爵千秋隆君 私ハ此前ノ委員會ニ少シ他ニ委員會等ガアリマシテ、終ヒ迄出席シテ居リマセヌデ能ク存ジマセヌ爲、箇條ニ付テ御尋ネシテ宜シウゴザイマスカ

○副委員長(高橋琢也君) 宜シウゴザイマス
○男爵千秋隆君 私ハ第五條第三項ノ御尋ネヲシタイト思ヒマスガ、之ニ付テハ内務省ノ方ト文部省ノ方ト御出席ヲ望ム次第デスガ、兩省ノ方ハ御出席ニナッテ居ルデセウカ

○副委員長(高橋琢也君) 文部省ハ今呼ビニヤリマスカラ、内務省ノ方ノヲ先キニ...

○男爵千秋隆君 私ハ此三項ノ「神社、寺院又ハ佛堂ノ合併シタル場合ニ於テ之ニ因リ其使用ヲ止メタル國有財産ヲ其ノ合併シタル神社、寺院又ハ佛堂ニ讓與スルトキ」ト云フ箇條ニ付キマシテ、先ヅ内務省ノ方ニ御質問シタイト思ヒマスガ、此箇條デ見マスルト云フト、私共ノ恐レル所ハ、前ニ大分話モアリマシタ、神社ヲ餘リ確タル方針デナクシテ非常ニ數多クノモノヲ合併サレタ、其弊害ガ甚ダシカッタト云フコトガアリマシタガ、矢張り今度モ斯ウ云フ法律ノ箇條ガ出マス、ソレニ依ッテ神社ノ合併ト云フモノガ盛ンニナリハシナイカト思フノデスガ、是ガ銀行ノ合併トカ或ハ其他精神ノ以外ノモノノ合併ト云フモノハ左程物質上ノ利害關係ニ依ッテ極メタ所デ何等弊害ハナイヤウデアリマスカ、神社ト云フモノニナリマス、最モ國民ノ崇敬シテ居ルモノデアリマシテ、各々是ニハ御承知ノ如ク祭神ト云フモノガ古來カラアリマシテ、部落ニ於テハ之ヲ非常ニ國民道德ノ中心トシテ崇敬シテ居ッテ、一村ノ道德ガ行ハレ

ルノモ此神社ニ對スル敬神ノ態度ヲ以テ祭ッテ居ルト云フコトカラ然ルノデアリマスカラ、行政官ノ適宜ニ依ッテ、又斯ウ云フ法律ノ爲ニ合併ヲ促進スルト云フコトニナリマス、更ニ精神ノミナラズ、又之ニ伴フ財産等ニ付テモ甚ダ好マシカラヌコトガ先年アツタヤウデアリマスカラ、此點ニ付テ内務省ノ御方針ハ如何デアラウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、サウシテ此前ノ神社合併ノ場合ナドニ於キマシテハ、所謂延喜式ノ中ニ載セラレテ居ル神社、即チ我國ニ於テ最モ由緒アル所ノ神社迄、往々村社郷社ニ合併シタト云フヤウナ嫌ヒモアル、其他種々之ニ對スル非難等モアツタノデアリマスカラ、斯ウ云フコトヲ立法サレルト、其爲ニサウ云フ弊害ヲ促進サレルコトハナイノデアリマセウカ、ソコヲ明カニ政府委員カラ伺ッテ置キタイ

○政府委員(山田準次郎君) 御答ヘ申上ゲマス、唯今ノ御心配カラノ御質問ニ對シマシテ、私共全然御同感デアリマス、御趣旨ニハ全然御賛成申上ゲルノデアリマス、デ此條文ノ五條ノ第五號ガ入りマシタノハ、是ハ從來勅令ト致シマシテ、三十九年ノ八月ニ制定セラレマシタ勅令ガアリマシテ、其勅令ガ其通リデアリマス、即チ現行制度ヲ其儘採用シタノデアリマシテ、其諸リ勅令ニナリマシタ者ヲ此法律ニ移シテ、官有財産ニ關スル規則ハ總テ勅令ニアルノガ國有財産法ト、法律トナリ、又統一サレテ居ラナカッタ法規ヲ統一スルト云フ方針ノ一ツノ場合トシテ、從來勅令ニ制定サレテ居マシタモノガ此所ニ上ツタノデアリマシテ、其趣旨ハ獎勵スルト云フ趣旨ハ少シモアリマセヌノデ、唯若シ合併シタモノガアレバ、其跡地ハ合併シタ神社ニ無償デ讓與スルガ宜カラウト云フ、斯ウ云フ精神デ之ニ上ボッテ居ルノデアリマシテ、合併ヲ獎勵スル趣旨ハ少シモナイノデアリマス、ソレニ合併ニ付キマシテハ唯今御質問ノアリマシタ通り、一時之ヲ獎勵シタ時代モアリマスカ、是モ唯今ノ御質問通りノ弊害モアリ世間ノ非難モアル、

其非難モ相當デアルト云フコトカラ、現行ニ於テ内務省ノ方針トシテモ、合併ハ獎勵セヌコトニナッテ居リマス、是ハ極ク短イモノデアリマスカラ讀シデ見タイト思ヒマス、各地方長官ニ指示シタ事項デアリマスガ、

「神社ノ合併ニ關シテハ從來屢々各位ノ注意ヲ促シタルコトアリシモ其旨趣尙徹底セサルモノアリ往々非難ノ聲アルハ遺憾トス、元來神社ノ合併ハ格別ノ由緒ナク且維持ノ方途ヲ得スシテ廢類ニ歸シ却テ神威ヲ損スルカ如キ虞アル神社ニ就キテ行ハルヘキモノナリ、從來基本財産ノ蓄積社殿等ノ完備其他跡地樹木ノ伐採等ヲ圖ル爲メ強ヒテ合併ヲ行ハントスルカ如キ場合若ハ合併ノ爲メ自ラ崇敬心ヲ傷ハシムルノ傾向アリト認メラル場合等ニハ之ヲ避ケシムルコトニ注意セサルヘカラス惟フニ神社ハ世道人心ニ關スルコト極メテ密邇ナルモノアルカ故ニ合併ノ措置ニ關シテハ上述ノ旨趣ヲ體シ深ク神社ノ由緒並實狀ヲ考慮スル等最モ慎重ナル調査ヲ遂ゲ敢テ懲ナキヲ期セムコトヲ望ム」
斯ウ云フ趣旨デ長官會議ニ於テモ屢々地方長官ニ訓示ヲサレテ居ルヤウナ次第デアリマス、其結果カラ申シマスルト、三十九年ノ十二月末日現在神社ノ總數ガ十九萬三千六百五十五社、約二十萬社デアリマシタノガ、明治三十九年頃カラ神社合併ト云フコトヲ多少獎勵セヌヤウナ方針ヲ取ツタノデアリマス、ソレハ勿論荒廢ニ歸スルヨリハ、數ヲ少ナクシテ神社ヲ立派ニシテ、之ニ依ッテ崇敬心ヲ増サウト云フ勿論善意ノ趣旨カラ出タノデアリマスカ、多少神社合併ノ獎勵ト云フコトガ止ミマシテ、明治四十年カラ各年ノ減シタ數ヲ見マスレバ、明治四十年ハ一萬三千六百九十六社、四十一年ハ一萬四千三百一十一社、四十二年ハ一萬四千九百九十八社、四十三年ハ一萬七千九百九十九社、四十四年ハ一萬七千九百九十九社、四十五年ハ一萬七千九百九十九社、此中カラ唯今神社合併ノ結果動

モスレバ由緒アル神社ノ合併ナドガ一方ニ於テ弊害ガ認メラレマシテ、神社ノ崇敬ノ上カラ矢張り合併ハ十分慎重ニシナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、四十四年カラ減ジマシタ數ハ三千九百八十九社、四十五年ハ四千九百九十五社、大正二年ハ三千二百二十九社、大正三年ハ二千六百五十九社、大正四年ハ一千七百八十四社、大正五年ハ一千八百九十三社、大正六年ハ一千九百一十一社、大正七年ハ八百七十四社、大正八年ハ六百七十一社、大正九年ハ六百八十八社ト云フ、斯ウ云フ形ニナツテ居リマシテ、四十年カラ四十三迄ハ一萬社以上ノ合併アリマシタノガ、最近ノ大正七年八年ニナリマシテハ八百社六百社ト云フコトニナリマシテ、現在デハ合併ハ最モ慎重ニ致シテ居リマシテ、神社ノ崇敬ノ上カラ餘リヒドクナツテ、却テ其儘ニ置イテハ神威ヲ潰スガ、外ニ方法ガナイガ、シカモ由緒ノ上カラ申シテモ極ク新シク出來タ神社デアッタト云フヤウナ神社ニ付イテ合併ガ行ハレル譯デアリマシテ、御希望御心配ハ政府トシテ同感デアリマシテ、唯今御質問ノ御趣旨ノヤウナ方針デ此點ハ扱ツテ居リマス、此條文ガ茲ニ這入リマシテモ、是ハ從來ノ勅令ヲ茲ニ移シマシタダケデアリマシテ、此爲ニ獎勵ト云フヤウナコトハ容易ニ來サヌツモリデアリマス、サウ云フ誤解ガ起ツテハ困リマスカラ、誤解ノ起ラヌヤウニ相當ノ方法ヲ探ルコトニシタイト思ヒマス、此事ヲ……

○男爵千秋隆君 唯今ノ政府委員ノ御説明ハ大體了承イタシマシタ、即チ此勅令ニ依ツテ今迄取扱ハレテ居ッタモノヲ法律トナスッタト云フコトハ、此前ノ豫算分科會ニ於テ神社局長カラモ拜聴シマシタ、私モソレヲ承知イタシテ居リマスカラ、固ヨリ内容ニ於テ變ツタモノトハ考ヘテ居リマセヌ、又段々ト御述べニナツタ神社合祀ニ付イテ、深甚ノ注意ヲ御執リニナルコトヲ意ラナカッタト云フコトモ、略々了承イタシマシタ、最モ是ハ法律トシテ兩院ヲ通過シテ現ハレテ參リマス場合ニ於キマシテ、我々ハ之ニ付テ深ク注意ヲシナケレバナラヌト考ヘマス、勅令ノ場合ニ於テモ固ヨリ此神社ノ合併ト云フ事ハ心配ヲ致シテ居リマシタ、是ハ我々トシテ直接力ノ及バヌ範圍

外デアリマスレバ、多クノ場合ヲ除ク外致方ナイト思ヒマス、既ニ法律トシテ兩院ヲ通過スル場合ニ於テハ、此點ニ付テハ十分ニ御辯明ヲ得テ置キタイト思ヒマス、或ハ内務大臣ヨリ或ル相當ナ期間ニ於テ御辯明ヲ得タイト思ヒマス、唯今政府委員カラ御述べベニナリマシタ御趣意ハ十分我々トシテモ御同感デモアリ又サウ云フ風ニ願ヒタイト思ウテ居リマスガ、大體唯今ノ御趣意ヲ承ツタノデ、政府ノ意ノ在ル所ヲ伺ツタノデアリマスカラ、私ノ質問ハ神社ニ關スルコトハ、茲ニ是レダケデ打切りマス、尙ホ附加ヘテ置キマスガ、唯今政府委員ノ言ハレタコトハ了承ラ致シマシタケレドモ、ソレハ唯茲ノ御話ダケノコトデ、矢張り十分ニ其意味ヲ徹底イタシテ置キマセヌト、矢張り此法文ノ上ニハサウ云フコトハ現ハレテ居リマセヌカラ、私ハ此點ニ付テハ尙ホ十分ニ御辯明ヲ得テ置クノハ必要ト思ヒマス、ソレハ私ノ希望デアリマスカラ、ソレダケ附加ヘテ此質問ハ是デ止メテ置キマス

○男爵西村精一君 大藏省ノ政府委員ニ御尋ネ致シマスガ、國有財産ノ管理ハ各省大臣ガスルト云フコトハ此前ノ御話デ能ク分リマシタガ、國有財産カラ生ズル益得金トデモ言ヒマスガ、收益金トデモ云ヒマスガ、其取扱ハ各省ニ區々ニナツテ居ルヤウニ思フノデスガ、ソレハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○政府委員(西野元君) 唯今マデノ所デハ各省大臣ガ此主管ノ國有財産ヲ管理シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ總括統一スル所ノ機關制度ハ缺ケテ居リマシタ爲ニ、往々ニシテ唯今ノ御話ガアッタラウト思ヒマス、併シ今後ハ各省大臣ノ主管イタシマス、國有財産ニ付キマシテモ、之ヲ大藏大臣ニ於キマシテ財務ノ事務ト看做シテ財務行政ヲ統轄スルト云フコトニ致シマス、從ヒマシテ又此法案ノ第三條ニ規定スル所ニ從ヒマシテ、之ヲ總括統一スルト云フコトニナリマスレバ、自ラ各省ノ主管シテ居リマス國有財産ニ付キマシテモ、是ガ管理ノ方法ニ付テ區々ニナリマセヌヤウニ、能ク統一ヲ期スル考ヘデアリマス、無論各省ガ保管シテ居リマスモノハ多クノ場合ニ於キマシテ公共用財産、又ハ公用財産デアリマシテ、收益

ヲ生ゼザルモノガ多イノデアリマシテ、其他ノ難種財産ハ概括シテ大藏大臣ガ主管スル積リデアリマス、故ニ各省大臣ノ主管シテ居ル所ノ國有財産ニ付キマシテハ收益ヲ生ズルト云フモノハ餘リ顯著デハナイノデアリマスケレドモ、尙ホ此前モ御話ノ出マシタ公共用ニ一部ヲ利用スルト云フ場合ガアリマシタガ、假令公共用財産、公用財産デアリマシテモ、傍ラ一種ノ副産物ニ多少ノ收益ヲ生ズル場合ガアルノデアリマス、是等ノ場合ニ之ヲ最モ有利ナ方法ヲ以テ利用スルト云フコトニ付キマシテハ、全體ヲ統一シテ取扱ヒテ致シマシテ、餘リ區々ニナラヌヤウニ致シタイト思ツテ居リマス、是等ノ事柄ガゴザイマス爲ニ、前同モ申上ゲマシタ通り、假令各省大臣ガ直接管理イタシテ居リマシテモ其裏面、裏面ト申シマシテハ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、矢張り全部ニ互リマシテ統一ノ事務ガゴザイマスノデ、矢張り此大藏大臣ハ各省大臣ノ主管シテ居ル國有財産ニ對シマシテモ、尙ホ間接ニ統一ヲ致ス所以デアリマス、是等ノ各省主管ノ國有財産ノ管理ノ爲メ、或ハ種々ノ法制ヲ設ケ、或ハ大藏大臣ニ協議ヲ致シマシテ、特ニ方法ヲ設ケテ時々大藏大臣ニ交渉スベキ事柄ヲ勅令ヲ以テ規定ヲ致ス積リデアリマス

○男爵西村精一君 現ニ陸軍省邊リデハ此國有財産カラ生ズル收益金ヲ特別會計ニシテ、サウシテ營繕補充ナント云フ特別會計ガアリマスガ、サウ云フヤウナ取扱ヒヲシテ居ル、他ノ各省デハサウ云フ取扱ヒヲシナイノミナラズ、餘リ此國有財産カラ收益ヲ取ルト云フコトヲ心掛ケテ居ラヌヤウニ思ハレマス、今度ハサウスレバ特別會計デモ御設ケニナル考ヘデアリマスガ、ドウデアリマスカ

○政府委員(西野元君) 陸軍ノ例ニ致シマシテハ唯今御話ノ通り陸軍ノ營繕費用資金特別會計ヲ設ケマシテ、此陸軍省ノ主管ニ屬スル一切ノ國有財産ヨリ生ズル收益ヲ特別會計ニ充テマシテ、之ヲ以テ陸軍省ノ必要ナル營繕費ニ屬スル費用ニ充テテ居リマス、是ハ陸軍省ノ特別ノ關係ニ依リマシテ設ケマシタ特別ナル現象デアリマシテ、此制度ヲ將來繼續スルヤ否ヤハ今日別ニ定ツタ考ハナイノデゴザイマス

ガ、又之ヲ俄ニ廢スル考モゴザイマセヌカラ、恐ラク事情ニ變化ナキ限リ陸軍省ノ特例ハ當分存續セシメルコトト考ヘテ居リマス、併ナガラ他ノ各省トモ是ト同一ニ取扱フカドウカト申シマスレバ、例令陸軍省ハ斯様ナ取扱ヒテ致シテ居リマシテモ、此制度ヲ各省ニ許スト云フ考ハ有ツテ居リマセヌ、唯今御話ノ如ク各省ガ或ハ管理ガ行届イテ居ルカ、或ハ行届イテ居ラヌカト云フヤウナコトハ、成ベク致シタクナイト考ヘテ居リマス

○男爵西村精一君 モウ一ツ大藏省ノ政府委員ニ御尋ネ致シマスガ、此國有財産ハ此法案ガ通過シタ後ニハ、會計検査院カラ又種々ナル非難事項ガ生ズルノハ斯ウ云フ點ガアルカラダラウト思ヒマス、例ヘバ海軍省ハ收益ヲ計ル上ニ於テ相當ノ設備ヲシテ收益ヲ計ル、文部省ハ相當ノ設備ヲスレバ相當ノ收益ガアルニ拘ラズ、其設備ヲ怠ツタ爲ニ國庫ノ損ヲ來スト云フヤウナ非難事項ガ必ズ生ズルダラウト想像スルノデス、各省共相當ノ設備ヲシテモ收益ヲ計ルト云フコトガ必要デアラウト思フノデス、其意味ハ大藏省デ徹底スルヤウニ御取計ヒニナル譯デアリマスカ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(西野元君) 唯今ノ御尋ネノ此各省ノ設備ト申シマスル御話ノ意味ハ、或ハ此公用財産、公共用財産等ヲ利用シテ、傍ラ是ヨリシテ收入ヲ得ル爲ニ何等カノ有形的ノ設備ヲサレヌケレバ其利用ガ完ウサレナイ、隨テ收益ヲ得ラレナイデ之ヲ管理スル事ハ出來ナイト云フ有形的ノ御話デアリマス、或ハ各省ガ人ガ少ナイ爲ニ手不足デアツテ、相當ニ人デモ置カナケレバ其注意ガ届カヌカラ、之ニ對シテ多少官吏ノ數デモ増スト云フヤウナ、無形ト申シマスカ、制度ノ上ノ設備ト云フ御話ガ、チヨット御趣意ヲ了解イタシ兼ネマシタケレドモ、若シ最初ノヤウナ意味ノ御話デゴザイマスレバ公共用財産、公用財産ニ付キマシテハ、餘リ金ヲ掛ケマシテ有形的ノ設備ヲシテ、之ニ依ツテ收益ヲ得ルト云フコトハ先ヅ無カラウト思フノデアリマス、大體公共用財産ハ直接公共用ニ供スルモノデ、道路デアルトカ、公園デアルトカ云フヤウナモノデアツテ、是等ノ利用ノ途ハ多少ハ

アリマセウガ、主トシテ直接公共用ニ供スルモノデアツテ、收益ヲ生ズルト云フコトハ非常ニ少ナイノデゴザイマス、又公用財産ニ於キマシテモ學校ノ校舍デアルトカ、官廳ノ廳舎デアルトカ、數地デアルトカ云フヤウナ公共ニ供シテ居ルモノデアリマスカ、是レ又傍ラ多少公用ヲ妨ゲザル範圍ニ於テ、或場合ニ特定ノ人ニ使用サシテ、多少ノ使用料ヲ徴スルト云フコトハアルガ、併シ政府ガ之ニ金ヲ投ジテ收益ヲ舉ゲルト云フヤウナ意味ノモノデハナイ、畢竟スルニ各省大臣ノ所管ニ屬スル國有財産ノ範圍ニ於キマシテハ、餘リ唯今御話ノヤウナ設備ヲ致シテ收益ヲ收メルト云フヤウナモノハ少カラウト思ヒマス、勿論鐵道トカ電信電話デアルトカ云フヤウナモノニ付テハ、是ハ又別デアリマスガ、是等ノ分ハ自ラ唯今御質問ノ趣旨ニハ含マヌコトト考ヘテ居リマス、又營林財産ニ付キマシテハ經費ヲ投ジテ設備ヲスル必要ガアルガ、是モ農商務省ニ限ツタ問題デアリマス、ソレデ國ガ保存イタシテ居リマシテ、主トシテ收益ノ目的ニ供セラルルモノハ雜種財産ノ問題ニナリマシテ、是ハ其財産ノ種類カラ申シマシテ、是モ餘リ積極的ニ國ガ大ニ之ニ資本ヲ投ジテ收益ヲ圖ルト云フ場合ハ少カラウ、大體國ノ有ツテ居リマス所ノ不用地デアルトカ、不用地ト申シマスルト語弊ガアリマスカ、公用ニ供スル以外ノ用地デアルトカ土地デアルトカ、或ハ雜種地ノヤウナモノデアルトカ、或ハ國ノ有ツテ居ル株デアルトカ云フモノハ收入ヲ生ジマスカ、積極的ニ資本ヲ投ジテ改善ヲ爲シ、設備ヲ爲スト云フヤウナ場合ハ、少カラウト思ヒマス、若シ唯今ノ御話ヲ管理ニ要スル所ノ制度ト云フ意味ニ解シマスレバ、是ハ或程度マデハ多少是等ノ財産ヲ收益的ニ經濟的ニ管理イタシマスル爲ニ、幾分ノ人手ヲ要スルト云フヤウナ場合ハアルカモ知ラヌガ、今日考ヘテ居リマス所デハ、此財産ノ管理其モノノ爲ニ直接ニ大ニ人手ヲ要スルト云フ考ヲ有ツテ居リマセヌ、唯固有財産法全體ノ趣旨ヲ貫徹イタシマスル爲ニ、此臺帳ヲ整理シ計算ヲ明カニシ、此帳簿等ノ價格ヲ改訂スル、是等ノ種々ノ點ニ付テ管理事務ノ爲ニ、自ラ各省ノ會計の事務、官有財産ノ管理ニ關スル事務

ヲ取扱ツテ居リマス分ニ付テ、多少増員等ノ必要ヲ見ルコトハ免レナイト思ツテ居リマスガ、是ハ大ニ多額ノ經費ヲ要スル、各省ハ多額ノ人員ヲ増加スルト云フマデノモノデナイト考ヘマス、或ハ御質問ノ御趣旨ニ副ハヌカ知ラヌガ、一應御答申上ゲマス

○男爵西村精一君 大藏省ノ政府委員ニ御尋ネシマスカ、私ガ質問シタノハ、大ニ資本ヲ投ズルトカ、收益ヲ圖ル爲ニ大ニ資本ヲ投ジテ收益ヲ圖ルト云フヤウナコトデナクシテ、僅ニ當局ノ者ガ、其當事者ガ例ヘバ學校ノ周圍ニ桐ヲ植エルトカ云フヤウナ事ノ爲ニ、多少ナリ收益ヲ圖ル、甲ノ文部省デハ圖ルガ、農商務省デハ圖ラナイト云フヤウナコトノ關係上、検査院ガ種々雜多ナ非難ヲ生ズルヤウナコトガ多クアルダラウト想像スルノデスカ、其邊ヲ能ク明瞭ニ各省トモ同一ノ精神デ國有財産ヲ利用スルト云フコトハ、徹底スルヤウニナサルコトトハ思フノデスガ、其邊ノ御考ヲ聽キタイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○政府委員(西野元君) 御尋ノ趣旨ヲ能ク了承イタシマシタ、御承知ノ通り唯今陸軍省ノ營繕補充資金特別會計ニ於キマシテ、陸軍省デハ毎年土地利用費ト申シマシタカ、豫算科目ヲハッキリ記憶イタシテ居リマセヌガ、土地建造物利用費ト云フヤウナ科目ヲ以テマシテ或程度マデ多少ナガラ、幾分カ收益ヲ舉ゲル目的ヲ以テ練兵場ニ木ヲ植エルトカ、練兵場ニ在ル所ノ池ニ對シテ養魚ノ企ヲ致ストカ、幾分十萬トカ二十萬圓位ノ金ヲ投ジマシテ收益ヲ舉ゲル、其金ノ中カラ收益ヲ舉ゲルニ必要ナル資本的ノ施設ヲ致シマシテ、收益ヲ圖ツテ居ルヤウニナツテ居リマスカ、是ハ陸軍省ノ營繕補充資金特別會計ガ存在イタシマス爲ニ、特別ニサウ云フ注意ガ行届イテヤツテ居リマスガ、御話ノ通り斯ノ如キモノハ各省ニナイノデアリマシテ、隨テ各省デハ是等ノ點ニ付テ、知シテ多少ナリトモ經費ヲ使ツテ收益ヲ舉ゲルト云フ方法ヲ講ジテ居ラヌノデアリマス、全ク他動的ノ偶然ニ舉ツテ參ル收益ヲ取ツテ居リマスカ、或ハ相當ノ點ニ付キマシテハ、御話ノ通り或ハ或省ハ相當ノ注意ヲ致シテ、相當ニ豫算上經費ヲ費ツテ是等ノ管理ヲ全ウスル、或省ハ一向無關心ニ是等ノコトヲ放任

シテ置クヤウナ嫌ガ生ジ得ルコト考ヘマス、ソレ等ノコトニ付キマシテハ、篤ト大藏省ニ於キマシテ各省トモ相談イタシマシテ、共通的ノ財産ニ付キマシテハ何處モ同ジヤウナ注意ヲ拂ツテ、相當ニ若シ多少經費ヲ掛ケマシテ、其方ガ利益デアレバ相當ノ手段ヲ講ジマシテ其收益ヲ圖ル、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ篤ト協調ヲ保ツヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○石谷傳四郎君 チョット御尋ネ致シマスガ、國有財産、殊ニ森林ノ拂下等ニ付キマシテハ、隨分是マデ情實或ハ弊害ノ伴ウテ居リマス例ガ、多々見受ケマスヤウデアリマスガ、無論法律或ハ勅令ノ上デハ相當ノ取締ガ付イテ居ル譯ナンデアリマスガ、餘程ソコニ又潛レル所ガアルト見エマス、此度國有財産法ノ制定ト共ニ勅令ナンカノ側デモ、其邊ノ取締ニ付テ何カ又御計畫ニナツテ居ルコトデアリマスカ、チョット御尋ネ致シマス

○政府委員(中井勵作君) 國有林野ノ拂下ノコトニ付テ御尋デゴザイマスガ、此財産法ガ施行サレマシテモ、國有林野ノ拂下ニ關シマスルコトニ付テ、別段變更ハナイ見込デアリマス、之レニ付キマシテハ御承知ノ通り、勅令及ビ農商務省令ニ於キマシテ詳細ナル規定ガアリマシテ、ソレデソレト慎重ナル手續ヲ盡シテ拂下ヲ致シテ居ルデアリマスガ、ズット以前ニ於キマシテハ、價格ヲ調査ヲ致シマス者ニ、往々ニシテ緣故者等ト結託イタシマシテ、不當ニ見積タト云フコトガ元アリマシテ、安ク拂下セラレタト云フ事實ハ多少アルノデゴザイマスガ、之ニ付キマシテハソレト其當時嚴重ニ處分イタシ、又ハ刑ニ觸レタ者モアリマスガ、總テ此拂下ハ廣告ヲ致シマシテ、其廣告ニ依リマシテ出願イタシマシタモノニ付キマシテハ、ソレト規定ニ當メテ十分ニ弊害ノナイヤウニ取扱ヲ致シテ居リマス、ソレト更ニ此財産法ガ施行サレマシタ後ニ於テ、取調ノ手續等ノ上ニ於テ、更ニ鄭重ニスルト云フコトハ殆ド餘地ノ無イ位ニ十分規定ニ付テ取扱ヲ致シテ居リマス、唯先刻申上マシタヤウニ、調査委員デ價格等ヲ調査イタシマス者ノ、不正ノ取扱ノ爲ニ國家ニ損害ヲ來シ

タト云フヤウナ場合ガ數年前ニアリマシテゴザイマスガ、左様ナコトニ付キマシテハ其後ハ價格ヲ調査員ノ調査シタモノヲ其儘ニスルト云フコトデナクシテ、更ニ大林區署ニ於キマシテモ、農商務省ニ於キマシテモ、十分ニ審査イタシテ、ソレヲ以テ豫定ノ價格ヲ決定スルト云フ取扱ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、從前ゴザイマシタヤウナ弊害ハ斷ジテナイコトヲ期シテ居リマス

○石谷傳四郎君 固ヨリ其競争入札ナゾノ場合ニハ餘リナイノデゴザイマセウガ、所謂緣故拂下トカ、其他特賣ニハ如何ニモ規則ノ上デハ相當ノ取締ハ付テ居ル譯デアリマセウガ、事實上隨分其情實、或ハ弊害ノ伴フ場合ヲ餘ホド耳ニ致シマス、昨今ノコトハ存ジマセウガ、隨分近頃マデサウ云フ話ガアツタ譯デアリマスガ、何カ一ツ其邊ニ付テ取締上ノ御考ハナイモノデゴザイマセウカ、尙ホ承ハツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(中村勵作君) 其特賣ノ場合モ總テ廣告イタシテ、サウシテ其廣告ハ官報ニモ廣告イタシマシ、又所在ノ町村役場ニモ廣告イタシマシテ、サウシテ特賣ヲ願ヒ出テ來マシテモ、廣告シタ上デ致シマス、而シテ其特賣ノ資格ハ如何ナル者ニ特賣ノ資格ガアルカ、其順序ヲ如何ニ定メルカト云フコトハ、ソレト勅令省令ニ規定ガゴザイマシテ、ソレヲ當嵌テ處理スルコトニナツテ居ルノデゴザイマスガ、別段其規定ヲ更ニ變ヘルト云フヤウナコトハ、唯今ノ所デハ農商務省ニ於テハ考ヘテ居リマセウデゴザイマス、尤モ手續取扱ノ上ニ於テハ唯今ノ取扱十分ニ手續ヲ盡シ得ルコトト承知イタシテ居ルノデゴザイマシテ、唯如何ニ手續ヲ十分ニ致シマシテモ、係リノ官吏等ノ中ニ不都合ガゴザイマスレバ、手續ノ上ニ於テソレヲ防グト云フコトハ甚ダ困難デゴザイマスカラ、左様ナコトノナイヤウニ十分ニ監督イタシ、又取扱ノ上ニ於テハ數回審査ヲ、殆ド是マデモ既ニ致シテ居ルノデゴザイマスガ、其趣旨ヲ十分ニ徹底セシムルヤウニ注意スルコトガ、最モ必要ナコトト思ツテ居リマス

○男爵千秋隆君 速記ヲ止メテ御相談イタシタ

ラ、ドウデゴザイマセウ

○副委員長(高橋琢也君) ソレデハ速記ヲ...

(速記中止)

○副委員長(高橋琢也君) ソレデハ速記ヲ... 尙ホ續イテ御質問ガアリマスナラバ御質問シテ戴キマセウシ、又既ニ御質問ガ盡キタナラバ、是カラ討論ニ移リマセウト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○男爵千秋隆君 私ハ文部省ノ政府委員ノ方ノ御出ヲ請ウテサウシテ質問シタ結果、文部大臣ガ言明サレルトカ何トカ云フヤウナコトニ願ヒタイト云フ考デアリマスガ、併シ此所デ早ク御決メニナツテ仕舞フト云フ事デアルト、文部省ノ政府委員ノ方ニモ、大臣ニモ御聽スルコトガ出來ナイノデアリマスガ、ソコデ其議場デ兩大臣ニ言明シテ貰フノハドウ云フ段取ニ御ヤリニナリマスカ、ソレヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○副委員長(高橋琢也君) どう云フ段取ニ致シマセウカ、御意見ノアル所ヲ皆サンガ御同意ニナリマシタ場合ハデスネ、委員長報告ノ場合ニ是非其コトヲ申シマスコトニナリマスカラ...

○男爵千秋隆君 尙ホ伺ヒマスガ、文部大臣ニ言明シテ貰フノニ、一應質問シナイデ直グデ宜シウゴザイマセウカ

○副委員長(高橋琢也君) 仰シヤルノハ本會議デ御話デアリマスカ、又此所デ御話デアリマスカ

○男爵千秋隆君 本會議デ文部大臣ニ言明シテ貰フノニ、何等文部省ノ政府委員ニ質問モ何モセズシテ、此所デ文部省ノ政府委員ノ説明ヲ拔キマシテ、ト云フト甚ダ語弊ガアリマスケレドモ、何等政府ト交涉ナク此中ノ事柄ニ付テ言明シテ吳レト云フコトヲ仰シヤルコトハ、手續上完全デアアルカドウカト云フコトデアリマス

○副委員長(高橋琢也君) 千秋男爵ノ御述ベハ内務文部兩大臣ニサウスルト意見ヲ述ベロト云フコトヲ仰シヤルノデスカ、或ハ何方カノ大臣一ツニ...

○男爵千秋隆君 兩大臣ニ私ハ願ヒタイト思フノデアリマス、佛閣等モ無暗ニ合併ガアルト云フコトハ宜シクナイコトデアリマス、之ニ依リマススト云フト一個ノ佛閣デハ土地ガ貰ヘナイノデアリマス、土

地ガ貫ヘナイト云フコトニナレバ合併シタ結果貫ヘ
ルノデアルカラ、サウ云フヤウナ嫌ヒガアリハシナ
イカト思ヒマス、其點モ矢張り無暗ニ合併スルコト
ヲ促進スル意味ニ於テ此法案ヲ起草シタモノデナイ
ト云フコトヲ一言言フテ貫ヒタイ

○副委員長(高橋琢也君) 千秋男爵ノ御希望ハ、皆
サンニ御諮リヲ致シマシテ、皆サンガ御同意ナラ委
員長カラ報告スル時ニ其コトヲ申シマスシ、又委員
長トシテデモ一個トシテデモ、千秋男爵カラ是ハ一
讀會ノ報告ノアツタ場合ニ、御希望ニナツテモ矢張り
宜カラウト思ヒマスガ、何方ニデモ……

○男爵千秋季隆君 是ハ委員會ノ希望ト云フコトニ
願ヒタイト思ヒマス

○副委員長(高橋琢也君) サウスルト皆サンニ御諮
リ致シマスガ、千秋男爵ノ内務大臣及ビ文部大臣ニ、
此神社佛閣ノ合併ト云フ場合ニ付テノ説明ヲシテ貫
フ、斯ウ云フ御希望ガアルノデアリマスガ、ソレニ付
テハ委員會トシテ皆サンガ御賛成デアレバ、委員會
カラ其コトヲ報告ノ場合ニ申シマス、斯ウ私カラ申
シタノデアリマスガ、皆サンニ御諮リ致シマスガ、ド
ウ致シマセウカ、御同意ナラ……

○子爵稻垣太祥君 私ハ異議アリマセヌ

○男爵西村精一君 千秋男爵ノ御話デハ、文部省ノ
政府委員ガ來ラレテ能ク説明サレタナラバ、或ハ文
部大臣ノ言明モ必要ガナクナルヤウナコトト思ヒマ
スノデスガ、サウスレバ内務大臣ノ説明一ツデ済ム
ヤウナ譯デアリマス

○石谷傳四郎君 唯今ノ御話ノコトデスガ、マダ意
思ガスツカリ分ッテ居ラスノデヤナイノデスカ、スツカ
リ其言明ヲ爲サルダケノ十分意思ガアルノデスカ、
一應質問デモ爲サツテ戴カストソコハ分ラヌト思ヒ
マスガ、如何デスカ

○副委員長(高橋琢也君) 私ニ御尋ネデスガ、文部
省ノ政府委員ガ參ッテ居リマセヌ、參ッタナラバ其上
デシタガ宜カラウト思ヒマス……答辯ヲ一應御聽キ
ニナツタ上デ、ソレデ満足スレバ最早文部大臣ノ言明
ニハ及バナイ、若シソレガ不満足デアレバ文部大臣
ノ説明ヲ聽カウ、斯ウ云フ御意志デアリマスカ

○男爵千秋季隆君 私一個ノ意思トシテハ、文部省
ノ政府委員ニ一應質問シマシテ、サウシテ此コトヲ
明カニシテ尙ホ文部大臣ノ言明ヲ得タイ、斯ウ云フ
考デ、併シ文部省ノ政府委員ヲチットモ呼バナイデ置
イテ、直グ議場デ委員長ガ文部大臣ニ言明シロト云
フノハ、少シ手續ガ缺ケテ居ヤシナイカ、其爲メノ政
府委員ト云フモノガ出來テ居リナガラ、大臣ニ言明
シロト云フノハ少シ我々實際ノ上カラ言ヘバ穩當ヲ
缺キハシナイカ、併シ皆サンガサウ云フヤウニ御考
ヘニナルナラバ、自分ハ服從スル外ハ仕方ガナイガ、
サウ云フ氣付キデス

○副委員長(高橋琢也君) 千秋男爵ノ仰セモ御尤モ
デアリマシテ、二回モ文部省ノ政府委員ヲ呼ビマシ
タガ、丁度アナタハ御出席ガナカッタ

○男爵千秋季隆君 ソレハ速記ニ載リマシタカラ辯
明致シテ置キマスガ、兎角自分ノ關係シテ居ル委員
會ガアリマシテ、ソレガ緊急已ムヲ得ナイノデコチ
ラヲ缺席イタシマシタ、サウ云フ譯デ甚ダ残念ト思
ヒマス

○副委員長(高橋琢也君) チョット速記ヲ止メテ
〔速記中止〕

○副委員長(高橋琢也君) 速記ヲ……ソレデハ御質
問ヲナサルヤウニ……

○男爵千秋季隆君 ソレデハ文部省ノ政府委員ノ御
方ニ簡單ニ御質問イタシマスガ、國有財産法ノ第五
條第三項ノ中ニ「寺院又ハ佛堂ノ合併シタル場合ニ
於テ」云々ト云フ事ガ書イテアル、斯ウナリマスルト
我々ハ之ヲ疑フノデアリマスガ、而シテ政府ノ御方
針ハサウ云フ御方針デハナカラウト思フノデアリマ
スガ、是デゴザイマスルト、寺院又ハ佛堂ト云フモノ
ガ國有財産ノ讓渡ヲ受ケ様ト云フ場合ニ於テ、合併
シタル場合ノ外ハ受ケラレヌト云フ事ニナルトシマ
スルト、政府ノ寺院又ハ佛堂等ノ合併ト云フ事ヲ
願ッテ來ルモノガ出テ來ラウト思ヒマス、此法
文デ見マスルト、若シ其場合ニ於テ政府ガ合併スル
ト云フ事ヲ獎勵セラレル様ナ御趣意デアルト、サウ
云フ風ニナリ易イカト考ヘマス、併ナガラ非常ニ是
ハ精神上變化ヲ與ヘル事デアリマシテ、國家ノ爲メ

ニ取ラザル施設デアルト考ヘマス、政府ハ此法文ヲ
御起草ニナラレル時ニ、文部省ニ於テ合併ヲ促進セ
ラレルヤウナ御考ヲ以テ居ラレルノデアリマスガ、
一應其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(武部欽一君) 千秋男爵ノ御尋ニ對シマ
シテ御答ヲ申上ゲマス、此ノ國有財産法ノ第五條ノ
第三號ハ現在行ハレテ居リマス明治三十九年八月勅
令第二百二十號、此勅令ガ法律ノ形ニ變ッタモノト大
體ニ於テサウ丁承シテ宜イ規定デアルト本來考ヘテ
居ルノデアリマス、即チ今回ノ此ノ國有財産法ノ根
本ノ法律ヲ政府ニ於テ制定イタシテ、サウシテ從來
ノ各種ノ規定ヲ纏メテ、其不備ナ點ヲ補ハシメル點
ニ於テ制定サレタノデアリマセヌガ、此現在ニ於テ
モ勅令ノ規定ヲ其事柄ノ性質上ドウシテモ法律トシ
テ制定シ、規定セラルベキ事項ト考ヘルノデアリマ
スカラ、ソレデ此際此第五條第三號ノ規定ハ、法律ト
シテ定メル譯ニナツタノデアリマス、從ッテ現在ノ此
勅令ノ規定ノ精神ト、別ニ今度法律ニ變リマシタニ
付テ、其事柄ガ……更ニ此立法ノ精神ガ變ッタヤウナ
コトハ全クアリマセヌ、無論此法律ヲ定メマシタコ
トニ付テモ、別ニ是レニ依ッテ寺院又ハ佛堂ノ合併ヲ
獎勵スルヤウナ趣旨デハナイノデアリマス、唯現在
ニ於ケル此勅令ノ規定ハ法律ニ代ルト云フ位ノ所デ
アリマス、即チ寺院佛堂ノ合併ト云フヤウナコトハ、
從來ト雖モ茲デハ全ク寺院佛堂其モノガ維持ニ困難
シテ、合併シナケレバ立チ行カヌト云フヤウナ場合、
又善後ノ關係、ソレカラ生ズル以外ニ於キマシテハ
許スト云フコトハナイノデアリマシテ、此今回ノ法
律ノ規定ヲ定メルニ付キマシテモ、別ニ從來ノ方針
ヲ是ニ依ッテ變ヘルト云フヤウナコトハナイノデア
リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵千秋季隆君 唯今政府委員ノ御説明ト、先刻
内務省ノ政府委員ノ御答辯ニナツタノト、略ボ同様デ
アリマシテ、精神ノ在ル所ハ丁承イタシマシタ、無論
此神社ノ合併ノ必要デアルト云フモノハ、寺院ノ合
併ノ方ガ惡イモノデアリマスカラ、少イトハ思ヒマ
スケレドモ、所謂此頃坊間デ運動スル者、寺院ノ僧侶
等ガ寺院ヲ的確ニ移シテ貫ヒタイト云フ希望ヲ有ッ

テ居リマシテ、合併ト云フ法律ニ規定セラルルコトニナルト、財産ヲ下附サレタイ爲ニ合併ト云フコトヲ願フテ來ルコトモ免レナイコトデアリマスガ、其場合ニ於テハ、政府ニ於テ唯今ノ御精神ヲ的確ニ御保持相成ツテ、弊害ノナイヤウニセラレムコトヲ望ム次第デアリマス、尙ホ序ニチヨット御調ベガアレバ伺ヒタイト思ヒマスガ、寺院並ニ佛堂ノ最近ノ合併數ヲ御調ベニナツテ居レバ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(武部欽一君) 最近ニ於キマスル寺院佛堂ノ合併ニ關スル統計ハ、唯今丁度茲ニ持ッテ居リマセヌ、御必要デアリマスレバ取調ベテ後デ申上ゲマス

○男爵千秋季隆君 ドウカ後デ宜シウゴザイマスカラ願ヒマス、尙ホ委員長ニ伺ッテ置キマスガ、先刻申上ゲマシタ文部大臣ノ議場ニ於テ今ノ政府委員ノナサレタヤウナ御言明ヲ得タイト思ヒマスカラ、此場合私ヨリ提出イタシマスルカ、討論ニ入ッテ時ニ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○副委員長(高橋琢也君) 其方ガ宜シカラウト思ヒマス

○石谷傳四郎君 チヨット伺ヒマスガ、一時此神社ノ合併ヲ非常ニ德憑ナサツタコトガアリマス、寧ロ強制的ニヤラシタ如クデアリマシタ、所ガ近頃都合ニ依テ合併シナクテモ宜イト云フヤウナ御話ニナツテ居ルト承ハツテ居リマス、大變此地方ノ者ナドハ皆感ッテ居リマスガ、實際ドウ云フ御方針ニナツテ居リマスカ、チヨット伺ッテ置キタイ

○政府委員(塚本清治君) 唯今神社ニ關係シマスコトト思ヒマスカラ、私ヨリ御答イタシマス、神社ノ合併ハ唯今ノ御質問ノヤウニ、一時マア獎勵シタ時ガアリマシタ、私ガ先程此處デ讀上ゲマシタ統計デモ確カニ左様デアリマス、先程申上ゲタヤウニ、神社合併モ曾テ餘儀ナクナサレタ神社ノヤウデアリマスケレドモ、愈々合併シテ見ルト、其所ハ立派ナ人ノ古墳デアツタト云フ様ナモノガ段々アルト云フヤウナ譯デアリマシテ、神社ハドンナ神社デアツテモ慎重ニ調査シナケレバナラス、無暗ニ合併シテハイケナイ、日本ノ歴史ヲ、又國民ノ沿革ヲ知ルモノデアリマシ

テ、唯形式ノ上カラ言ツテ、一村一社ト云フヤウナコトデ合併スルノハ宜クナイダラウト云フ説ガ段々世間ニモ起リ、又政府部内ニモ起リマシテ、近來ハ合併ハ最モ慎重ニシナケレバナラス、如何ナルモノデモ濫リニ合併スルナト云フヤウナ方針ニナツテ居リマス、ソレダケ……

○男爵山内豐政君 チヨット伺ヒマスガ、此二十四條ニ付テ……是ニ依リマスト寺院佛堂ノ用ニ供スル土地ノ如キハ國有ノヤウニ取レマスガ、サウナツテ居リマスカ

○政府委員(西野元君) 二十四條ハ「從前ヨリ引續キ寺院又ハ佛堂ノ用ニ供シテ居ル雜種財産タル國有財産」サウ云フ意味デアリマシテ、寺院又ハ佛堂ノ用地モ無論寺院又ハ佛堂ノ所持スル土地モアリマス、是ヲソレニ供與シテアリマシテ、茲ニハ國ノ財産ニ付テノ規定シタ譯デアリマス

○副委員長(高橋琢也君) 質問アリマセスケレバドウデアリマス、モウ時間モ迫ッテ居リマスルガ、サウ長ウモアリマセスト思ヒマスガ、長クナケレバ討論ニ移ラウカト存ジマス

○副委員長(高橋琢也君) 御異議ゴザイマセスカ、如何デス、是ハ色々御質問モゴザイマセウケレドモ、簡條ニ付テ修正等御意見モゴザイマセスダシ、又國有財産法案ナルモノガ御承知ノ如ク、元ノ官有財産管理規則、又ハ農商務省ニ所管シテ居ル、國有財産林野法ト云フモノノ上カラ取扱ッテ居タモノヲ統一シテヤラウト斯ウ云フデアリマス、財産管理ノ上カラ言ヘバ確カニ是ハ一進歩デゴザイマス、尙ホ是ヲ大藏省デ所管シタカラト云ツテ、經濟ト云フ上カラ彼是レ言フ程ノコトモゴザイマセスカラ、其懸念モナカラウト思フノデゴザイマス、大體ニ於テ御意見ヲ承ハツテ又逐條審議ニ入りマスカ、別ニ逐條ニ付テモ細カイ御議論ガゴザイマセスケレバ、總體ニ付テ可否ヲ決スルコトニ致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○副委員長(高橋琢也君) サウシマスルト、此ノ國
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

有財産法全體ニ付テノ會議ヲ決了イタシマスガ、全部此儘採擇イタシマシテ御異議ハゴザイマセスカ
○男爵山内豐政君 チヨット伺ヒマスガ、之ニハ衆議院ノ修正ガ出テ居リマスガ御覽下サイマシタカ
○副委員長(高橋琢也君) ハイ、衆議院ノ修正ハ第十三條デ「隣接地所有者」ト云フ下ヘ「其ノ他」ト云フ三字ガ這入リマシタノト、其下ノ「不服アルトキハ其通知ヲ受ケタル日ヨリ六十日內ニ」ト斯ウ云フコトガアリマスガ、消シマシテ「不服アル者ハ訴願シ」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ皆サンニ出テ居リマス法案ニゴザイマセウト思ヒマスカラ、別段ニ申上ゲマセナダガ、勿論其修正シマシタモノヲ原案ト致シテ宜カラウト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセスカ

○男爵千秋季隆君 採決ニナリマス前ニ、先刻私ガ希望ヲ申上ゲテ皆サン御賛成ニナツタヤウニ思ヒマスガ、御採決ニナツテ内務大臣並ニ文部大臣ニ議場ニ於テ御言明ヲ願フコトヲ御諮リヲ願ッテ、御採決願フヤウニ致シタイト思ヒマス、或ハ委員長ノ御見込デ御採決ニナツテカ其事ヲ御諮リニナツテモ宜シイガ、ソレヲ御願ヒ致シマス

○副委員長(高橋琢也君) ソレデハ皆サンニ御諮リヲ致シマスガ、唯今千秋男爵カラ御希望ノ、内務大臣並ニ文部大臣ニ第五條ノ第三項「神社、寺院又ハ佛堂ノ合併シタル場合ニ於テ之ニ因リ其ノ供用ヲ止メタル國有財産ヲ其ノ合併シタル神社、寺院又ハ佛堂ニ讓與スルトキ」、此條ニ對シテ文部大臣ト内務大臣トノ言明ヲ聽キタイト仰ッシャル、先刻カラ皆サンニモ御諮リイタシマシタノデアリマスガ、之ヲ本案ヲ決シマス前ニ皆サンニ御諮リ致シマスガ、千秋男爵ノ御希望ヲ入レマシテ、委員長カラ報告ノ場合ニ此事ヲ議場ニ報告ヲ致シマスルコトニ致シテ宜シウゴザイマスカ

○男爵西村精一君 是ハ委員會ノ決議トシテ御報告ニナリタイト思ヒマス
○男爵千秋季隆君 私モ其積リデアリマス、ソレカラ委員長ガ言明ト仰ッシャルヤウニ思ヒマスガ……
○副委員長(高橋琢也君) イヤ説明デス

○男爵千秋季隆君 言明ト云フノモ同ジカモ知レマセヌガ、言明ト云フト、是迄慣用シテ居ル言葉ノヤウニ思ヒマスカラ

○副委員長(高橋琢也君) チョット千秋男爵ニ伺ヒマスガ、言明ト云フト何カ修正デモナサルノデスカ

○男爵千秋季隆君 其事柄ヲ言明スルト云フノデ、ソレハ文章ニ書キマシテモ宜シウゴザイマスケレドモ、兎ニ角合併ヲスルト云フ事ヲ獎勵スル譯デハナイ、此立法ノ精神ノ神社並ニ佛閣ト云フモノハ各々合併スベキ精神ヲ以テ立法シタモノデハナイ、又サウ云フ弊害ニ陷ルヤウナ場合ニ於テハ、努メテソレハ阻止スル考デアルト云フヤウナ意味デアリマス

○副委員長(高橋琢也君) 合併ヲ獎勵シナイト云フ事柄デスナ

○男爵千秋季隆君 左様デス

○子爵稻垣太祥君 私ハ唯今ノハ此方カラ言フコトマデモ此方ガ言フト云フコトハ、マア獎勵スルノデナイト云フコトヲソレヲ言フコトマデハ言ハヌデモ宜イト思フ、此事ニ關スル政府ノ方針ニ付テ明カニ言明シテ貰フト云フコトナレバ御同意イタシマス

○男爵千秋季隆君 唯今稻垣子爵ノ仰シヤッタコトト、私ノ申スコトト詰リ同ジコトデ、言葉ノ綾ガ違フコトハ先程仰シヤッタモノデアリマスカラ、ソレヲ仰シヤルノデ、合併ヲ是カラ頻リニスルト云フコトハ言ハナイ、詰リ委員長ガ私ニ念ヲ押シテ御置キニナッタコトハ、兩大臣ガ言明セラレルノデアリマス、稻垣子爵ノ仰セニナルコトモ詰リ同ジコトデアリマスカラ、ソレニ付テ不同意モ何モアリマセヌ、同ジコトデアリマスカラドウゾサウ御含ミヲ願ヒマス

○副委員長(高橋琢也君) 分リマシタ、ソレデ御諮リ致シマスガ、唯今千秋男爵ノ御希望、即チ兩大臣ニ言明ヲシテ貰フト云フコトヲ、議場デ委員會ノ決議トシテ報告ヲ致ス、斯ウ云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副委員長(高橋琢也君) ソレデハ總體ニ對シマシ

テ、此衆議院ノ修正ヲ入レマシテ原案トシマシテ、總テニ對シテ別段ニ御議論ガゴザイマセヌケレバ、此儘可決ニナッタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副委員長(高橋琢也君) ソレデハ原案ヲ可決イタシマシタ

午後零時九分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 高橋 琢也君

委員 子爵稻垣 太祥君
男爵西村 精一君
男爵山内 豐政君
男爵千秋 季隆君
石谷 傳四郎君

政府委員 內務省參事官 山田 準次郎君
大藏省主計局長 西野 元君
大藏書記官 河本 文一君
文部省參事官 武部 欽一君
農商務省山林局長 中井 勵作君

大正十年四月十一日印刷

大正十年四月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局